

日事 知る あの

新潟県知事

泉田 裕彦



◎中国総領事館開館式

六月二十四日(木)

日本国内で六カ所目、本州日本海側では初の中国総領事館が本県に開設され、開館式に出席した。これまで、長年にわたり誘致活動を行ってきた本県にとって、今回の総領事館の設置は大変喜ばしいことであり、心より歓迎したい。

開館式には総領事館の管轄地域である、新潟、福島、山形の政財界関係者や、胡中国外交部部長助理、程中国大使など、国内外から三百五十名以上が出席し、総領事館の開設を祝った。

初代総領事となる王華氏は、日本の留学経験、駐日本中国大使館での勤務経験があるなど、日本に対する造詣が深く、本県の総領事として誠に心強い人物である。また、本県の総領事館は、大阪に次ぐ国内二番目の規模で、産業担当領事と教育担当領事が設置される予定と聞いている。

本県は、日中国交回復に尽力した田中元首相の出身地であり、トキの保護増殖における日中協力、黒龍江省を始めとする中国東北地方との交流等、中国との長年の交流の歴史がある。また、中国との定期航空路、定期航路を有するなど交流の基盤と

なるインフラを有していることもあり、中国は、県内企業の国別で第一位の海外進出先である。

本県には、韓国、ロシアの総領事館、モンゴル名誉領事館などの北東アジアの国々の在外公館が集積しており、今回の中国総領事館の設置により、北東アジアのゲートウェイとしてのポテンシャルが一層高まるものと期待している。

今後は、総領事館と緊密に連携し、県産品の販路拡大、観光交流、青少年交流、新エネルギー分野における協力等を通じ、中国と本県双方が利益を享受できる関係を築いていきたい。



新潟総領事館開館式・祝賀レセプション

◎新潟県中越沖地震三周年シンポジウム

七月十六日(金)

甚大な被害を被った中越沖地震から三年目の今日、午前中は、中井内閣府特命担当大臣(防災)のご出席の上、県市村合同追悼式を開催し、亡くなられた方々に哀悼の意を表した。その後、この地震をきっかけに「防災エンジニアコース」が設けられた、柏崎工業高校の生徒と懇談した。

午後からは、柏崎市産業文化会館

においてシンポジウムを開催し、パ
ネルディスカッションに参加した。
ここでは、原子力発電所の地震被災
という特殊な事情の下、当時の情報
発信の在り方や伝わり方、人々の受
け止め方がどのようなものであつた
かを検証し、災害時において誰がど
ういった情報を出すべきであるのか
を考えるもので、NHK解説副委員
長の山崎登氏をコーディネーターに
迎え、原子力安全・保安院や東京電
力の担当者、被災住民代表など六名
からの参加をいただき、意見交換を
行った。

参加者からは、「発災直後は国も、
事業者も自治体も情報発信が遅れ
た」、「情報の出し手が重視してい
た」と、「情報の受け手が重視してい
た内容がずれていたのではないかと
いった課題が出される一方で、三年
間の変化として、「徹底した情報開
示の意識が強まり、透明性が高まっ
た」、「住民目線での情報提供の意
識が強まっている」などの意見が出
された。

今回のシンポジウムが、それぞれ
おかれている立場で、どのように考

えて、どう情報を発信していくべき
なのか、というコンセンサスをつく
る契機となり、原発立地地域の住民
と国、事業者が、今後更に直接向き
合えるようになることを期待する。



パネルディスカッション

◎プロ野球「オールスターゲーム」
が新潟で開催！

七月二十四日(土)

今日は、待ちに待った「オールス
ターゲーム」が県立野球場「HARD
OFF」ECOSタジアム新潟」で開催
される。朝早くから十二球団のお気
に入りのユニフォームを着た熱狂的

なファンが球場に集まっていた。

思い起こせば、一度は二〇〇八年
に開催が決定していたものを、中越
大震災の発生により、やむなく開催
を返上した経緯があり、その後、再
度要請をし、ようやく今回の開催に
こぎ着けた。その意味でも、今日を
迎えられたことを私自身が純粹にう
れしいと感じており、この気持ちは
県民の皆様も同じであると思う。

試合のオープニングセレモニーで
は、セ・リーグの原監督へ、新潟県
産コシヒカリをプレゼントさせても
らった。日本一の「旨い」ご飯を食
べてもらい、後半戦の試合も是非が
んばってもらいたい。

ゲームは、先制したパ・リーグに
終盤セ・リーグが追いつくスリリン
グな展開で、五対五の引き分けて
あった。スター選手の一投一打に満
員の球場全体が盛り上がりを見せて
いた。こんなビッグゲームを新潟で、
目の前で見られる幸せを改めて感じ
る。

また、スタジアム前の広場では、
プロ野球OBによるトークショーや
十二球団のマスコットによる記念撮

影会、観光・物産PRなどのイベン
トが開催され、さらには、新潟市内
の繁華街でパブリックビューイング
も実施され、いよいよ全体が野球
で盛り上がる一日となっていた。

今年の三月には「プロ野球新潟招
致委員会」を立ち上げ、まずは一試
合でも多くのプロ野球の試合を開催
したいと取り組んでいるところであ
る。スポーツは地域の一体感を高め
てくれるもの、地域を活性化してく
れるものだとして改めて感じた一日で
あった。



県産コシヒカリをプレゼント